科目名					学年	
英語演習 I C : English Practice IC					5B	
教員名 南優次: MINAMI Yuji						
単位 授業時間 1 100分×15回		科目区分 必修	授業形態 演習·前期	学修単位		
	•			共通して誤解する)	
授	を学習する。また、人文・社会科学分野において、生命科学に関する					
業概	知財共有が、必要不可欠であることを学習する。そして、1953年4月に 出たたった900語のDNAの2重螺旋構造モデルの論文が、知的パラダ					
要						
		到達目標		評価方法		
(1)	英語の品	詞に関して、日本				
		を理解するように	はる。			
(2)生命科学に関する知財共有の必要性が分の%)、④自学自かるようになる。						
(3)	知的パラ	ダイムシフトを起こ	す論文とは何か	ポート(20%)に	こよって評価す	
を理解できるようになる。 る。 学習・教育目標 (G)(2) JABEE基準1(1) (f)						
-	回 回	項目	JAD	<u>CC基件(()</u> 内 容	(1)	
	授業の目的・意義・評価基準・評				平価方法、およ	
	第1	導入	び学習の進め、明	方、辞書の使い方	5等の概要説	
	第2	1. プロローグ	基本的な日本人英語の間違い・英語の基本			
	第3	2. 名詞	単数と複数・修飾語句としての名詞・(名詞・関 係代名詞)の形容詞的・副詞句的用法			
	第4	3. 代名詞	代名詞を使う理由・使い方・トラブル			
授	第5	4. 冠詞	不定冠詞·定冠詞			
	第6	5. 形容詞	形容詞の位置・名詞の形容詞転用・数量形容詞・数詞			
業	第7	論文紹介	1953年4月ネイチャー誌掲載の論文紹介			
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。			
計	第9	6. 副詞	形容詞との関係・副詞の位置・注意が必要な 副詞・否定文			
	第10	7. 比較	2つのものの比 のものの比較	較の仕方・3つま	たは3つ以上	
画	第11	8. 動詞	時制・態・助動詞・可能性と見込み・分詞・遊離 構文・分離不定詞・トラブル			
	第12	9. 前置詞	時間・場所・種々の前置詞・名詞と動詞の前置 詞			
	第13	10. 接続詞	等位接続詞と従属接続詞・相関接続詞			
	第14	Lesson 12	生命現象に関	する知的パラダイ	′ムシフトとは?	
		Í.	i e			

全体の学習事項のまとめと授業評価アンケー ト調査を行う。

英語演習IA、IB ライフ・サイエンスにおける英語論文の書き方(市原Aエリザベス、共立出版)

辞書必携。予習をして授業に臨むこと。

第15 まとめ

レポートを課す。

授業評価・理解度 最終回に授業評価アンケートを行う。

自学自習の内容

関連科目教 科書参考書

副担当教員 備 考